

**募集中!**

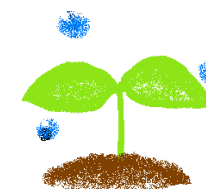
## 12月より、新卒者の募集を始めます!

- 2022年3月ご卒業の方の、2022年3月・4月からの訓練ご利用開始希望者の募集を、**2021年12月1日**から開始いたします。
- 毎年多くの方にお申込みいただいておりますが、利用開始のご案内は申込書の受付順となります。ご希望の方はお早めにお申込みください。

お問い合わせ先・・・0942-34-4400 (担当:中野・馬場)

\*新卒者以外のご利用の募集は随時行っています。

# あゆむ通信



※掲載写真等はご本人・団体に了承をいただいております

発行所 特定非営利活動法人福岡県障害者雇用支援センター“あゆむ”  
〒839-0864 久留米市百年公園1番1号 久留米リサーチセンタービル4F

働 く カ ア ツ フ

## 作業



作業の注文内容を伝える場面

共同での作業に取り組んでいる Uさんと Yさん。お互いしっかり話し合いながら作業を頑張っています。

Uさん: 個別作業は自分のペースでできますが、共同作業は相手に合わせてないといけないので、勉強になります。

Yさん: 共同作業では、コミュニケーション能力が高まると思います。相手にわかりやすいように注文内容などを伝えるよう、工夫しています。

## 実習

検品しながら袋をたたむ Oさん→

クリーニング工場で、初めての实習に挑戦した Oさん。製品が入っていた袋を、検品しながら種類ごとにわけてたたんでいく作業を経験しました。

Oさん: 初めての实習で少しだけ緊張しましたが、袋たたみ作業をがんばりました。工場は暑かったので水分補給を気をつけました。わからないことがあれば、会社の上司に「わからないのでおしえてください」ということが勉強になりました。



## 将来、働くこと 小・中・高校生のうちから考えよう!

訓練室の見学をしたり、就職している方のビデオを見ていただいたりすることができます。

“あゆむ”ではいつでも  
入所相談・体験訓練  
を受け付けています!

## 学習

面接練習や仕事のマナーの勉強などをします。時々オンラインで、少人数学習もおこないます。



zoomでグループ学習

## 余暇活動

レクリエーション  
も楽しめます



※今年度の累計就職者数は6名です（2021年10月末日現在）

【4月	Kさん	病院（備品の消毒作業）	】
【5月	Sさん	高齢者施設（清掃）	】
【6月	Wさん	保育園（清掃）	】
【7月	Mさん	工場（マットの補修作業）	】
【9月	Sさん	公的機関（事務補助）	】
【10月	Hさん	飲食店（食器洗浄・清掃）	】



夢をひとつ、かなえました！

ドラッグストア 勤務

～憧れの接客業で就職したMさん～

就職されて1年経つので、インタビューしてきました♪

Mさんより

商品の陳列や品出しなどを担当しています。一年が経って、ずいぶんお仕事にも慣れてきました。商品の並べ方も、お客様が見やすいように気をつけないとはいけません。バラバラだった並べ方も、繰り返すうちに綺麗にできるようになってきました。お仕事に慣れてきても、わからないことがたくさんあります。そんな時は、すぐに店長やスタッフの皆さんに質問しています。同じことを何回も質問してしまっていますが、いつも丁寧に教えていただけるので、安心して仕事ができています。

また、はじめは緊張して上手に言えなかったお客様への挨拶も、今では感じ良く言えるようになりました。実は…上手に言えるように、家でこっそり練習しています（笑）

前からずっとやりたかった接客の仕事なので、これからも長く働いて、好きなお菓子を買ったり、コロナウイルスが落ち着いたら旅行に行ったりしたいです！

店長より

Mさんは仕事への意欲が高く、朝の品出しもどんどんやってくれて助かっています！これからも頑張ってくださいと思います。



障害を伝えて 高齢者施設へ就職

社福) ひじり会 ひまわりの郷 小郡 勤務

～勤続6年、自信をつけて明るくなったMさん～

現在の仕事の様子

Mさんは、介護が必要な方のためのデイサービスで、リハビリの補助や、食事の配膳、清掃などの補助業務をしています。

Mさんはゲスト（利用者）の服装をほめたり、積極的にコミュニケーションをとります。リハビリ中には、ゲストのそばに座り、やさしく声をかけながらサポートします。

認知症の利用者の方もいらっしゃるので、利用中に不安な気持ちになられ、「帰る！」と言われることもあります。でも、「もうすぐ奥様が迎えに来られますよ」と、その方が安心できるように声かけするMさん。利用者それぞれに安心できる言葉かけがちがうのですが、周りのスタッフの声かけをまねして、一人一人にあった対応を覚え、かっこよく働いているMさんです。



障害を伝えずに働いていたころ・・・

Mさんは福祉の専門学校卒業後、病院に看護補助の仕事で就職しましたが、まだ障害の認定は受けていませんでした。シーツ交換や、患者さんの着替えの介護など、教えてもらっても、すぐにうまくはできませんでした。「どうしてできないの？」と思われ、職場の人に相談もできなかったMさんは、次第に仕事にいかなくなりました。「行かなければ」と思い、家を出ても、職場に足が向かず、公園で時間をつぶして帰るなど、つらい時期がありました。結局、仕事をやめ、働く自信が持てず、10年近く家にいましたが、周りのすすめで障害者手帳をとり、あゆむの訓練と就職後の定着支援を受けることになりました。



上司のIさん

障害者雇用ということで、入浴や食事、トイレ介助など、身体介護はせずして、Mさんのできる仕事をしてもらうようにしています。Mさんの苦手なことは手伝っていますが、Mさんも自然にゲストやスタッフをサポートしてくれるので、とても助かっています。